

第 56 回全国学童保育研究集会（20211023~20211024）レポート

【クラブ】（ たけのこクラブ ）

【名 前】（ 岩井 里真 ）

① 2 日目に参加した分科会のタイトルをお書きください。

第（1）分科会 （ 学童保育の生活——大切にしたいこと ）

※全体会のみに参加の場合は、全体会の記念講演のタイトルをお書きください。

② この分科会を選んだ理由をお書きください。

学童保育に携わり3か月。学童という場所が本来どのような場所、どのような役割があり、どんな事を大切にしていかなければいけないのかをしっかりと学び理解した上で子どもと関わっていく必要があると思ったから。

③2 日間の全体会と分科会で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

1 日目の全体会では、学童の始まりからその背景やその時の時代の流れなど知らない時代の話を書くことができ、少しではあるが学童の成り立ちや意味を知ることができた。また、コロナ禍での学童の生活、大きな災害時の被災地での子どもたちの思いやその心のケアをしながらの保育など想像できない面の実体験による話を聞いたことにより、更に保護者にとっても子ども達にとっても学童の重要性、大切さを知ることができた。涙ながらに話される姿は印象的で、被災地全体が大変なのはもちろんだが、非日常的な災害やウイルス蔓延等が起こった際、保育所、学校関係や学童等子どもに関わる全ての機関の方が自分自身以外の心身のケアをしていくためにも、自分自身がしっかりとしていなくてははいけなく本当に大変な責任のある仕事だと改めて感じた。

2 日目の分科会では、講師の佐藤先生の学童での一年の流れを写真と共に見ることができ、学童指導員歴数カ月の私にとっては1年の全体の流れが少しつかめる機会となった。この様に他の学童保育所について知る機会が少ないため事例や写真等ある研修はとても分かりやすかった。

そして、学童に通う子どもたちにとって学童は“第二の家”であり「ただいま」と言って「おかえり」と笑顔で迎えてもらう安心感や、学童に帰って何をしようと楽しみできる安全な生活が保障される場所でなければいけないことが分かった。この分科会では、運営指針に載っている事と重なる部分も多く、“学童保育をしていくにあたって大切なこと”は何度もしっかり学び理解する必要があると思った。

※提出されたレポートは、当会の広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※×切は、11月7日（日）です。常勤・専任指導員に手渡し、または FAX：0564-32-0325 までお送りください。